



表紙写真：大字西高橋 阿久津幸男さん撮影 <西高橋行司神社の奉納相撲>

No. 143 

2012年11月13日発行
議会だより

はが

9月議会定例会

9月定例会概要(報告、補正予算、任命同意ほか)……………	2~3
産業建設常任委員会事務調査報告……………	3
平成23年度監査委員決算審査意見・会計別決算額一覧……………	4
平成23年度一般会計決算質疑応答……………	5
常任委員会審査報告……………	6
一般質問……………	7~8
議会改革検討委員会レポートほか……………	9
議会活動報告・行政視察……………	10
聲<こえ>私のいいこと……………	11
議会日誌・表紙写真募集・編集室……………	12

一般会計補正予算など12議案を可決 9月定例会の概要

平成24年第3回町議会定例会は、9月4日から18日までの15日間の会期で開かれました。

初日は、町長から提出された議案の提案理由の説明後、監査委員からの決算審査報告がなされ、同意案件の採決が行われました。また、2名の議員が登壇し、執行部への一般質問を行いました。

決算の認定については、各常任委員会に審査が付託され、現地調査を含め厳正な審査が行われました。審査結果は、最終日に議長への報告を行い、全員により認定されました。

慎重審議の結果、議案は全件原案のとおり可決されました。



本田技研工業㈱から貸与された電気自動車

へ報 告

〔財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明〕

〔質疑〕 増淵さつき議員

〔芳賀町ロマン開発㈱の経営状況説明〕

〔質疑〕 市川 宗司議員
水沼 孝夫議員

〔平成23年度健全化判断比率及び資金不足比率の説明〕

〔質疑なし〕

〔芳賀町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正〕

〔内容〕 国家公務員に既定されている骨髄液の提供希望者に対する特別休暇の取得条件が、末梢血幹細胞の提供希望者にも適用されることになったことに伴い、本町職員においても同様に休暇を取得できるように改正するものです。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

〈条例改正等〉

〔芳賀町消防団の設置等に関する条例の一部改正について〕

〔内容〕 町消防団の設置に関する根拠法である消防組織法の改正に伴い、引用条項の訂正を行うものです。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

〔芳賀町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止〕

〔内容〕 平成23年度以降の町民税所得割の額から扶養者に応じて

一定額を減額した額を町民税所得割額と見なす、支給制限の特例を設けるため改正するものです。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

〔芳賀町防災会議条例の一部改正〕

〔内容〕 災害対策基本法の改正に伴い、防災会議条例、災害対策本部条例の一部を改正するものです。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

〔芳賀町災害対策本部条例の一部改正〕

〔内容〕 災害対策基本法の改正に伴い、防災会議条例、災害対策本部条例の一部を改正するものです。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

〔芳賀町遺児手当支給条例の一部改正〕

〔内容〕 平成24年4月1日から効率的な事務の運営を図るため栃木県市町村総合事務組合におい

て、これらの事務を共同処理することになったため廃止するものです。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

〔芳賀町消費生活センター運営協議会の設置〕

〔内容〕 芳賀地区消費生活センター運営協議会の設置について、益子町、茂木町及び市貝町と協議により規約を定めるため、地方自治法第252条の2第3項の規定により、議会の議決を求めるものです。

〔質疑〕 水沼 孝夫議員
小林 隆志議員

〔平成24年度芳賀町一般会計〕

〔内容〕 総額に、8,164万7千円を追加し、予算総額を67億4,699万3千円とするものです。

〔質疑〕 石川 保議員

〔補正予算〕

〔内容〕 平成24年度芳賀町一般会計

〔補正〕 総額に、8,164万7千円を追加し、予算総額を67億4,699万3千円とするものです。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

増渕さつき議員
 小林 俊夫議員
 市川 宗司議員
 大島 浩議員
 小林 一男議員
 見目 匡議員
 小林 信二議員
 杉田貞一郎議員
 (討論なし、原案可決)

□平成24年度芳賀町国民健康保険特別会計

【内容】 総額に、2,099万7千円を追加し、予算総額を19億1,799万7千円とするものです。歳出は、平成23年度の療養給付費等負担金や退職医療療養給付費交付金などの精算に伴う返還金です。
 (質疑・討論なし、原案可決)

□平成24年度芳賀町介護保険特別会計

【内容】 総額に、1,480万6千円を追加し、予算総額を12億1,480万6千円とするものです。歳出は、前年度分の国、県、町の負担金確定に伴い精算する諸支出金です。
 (質疑・討論なし、原案可決)

〈工事請負契約〉

□芳賀東小学校校舎増築・改修工事

▼入札の方法 9社による事後審査型条件付き一般競争入札
 ▼契約金額 1億4,267万4千円

▼契約の相手方 芳賀町大字祖母井763番地3 (株)小金建設

【質疑】 小林 一男議員
 (討論なし、原案可決)

〈任命同意〉

□芳賀町教育委員会委員

【内容】 平成20年から1期4年間ご尽力をいただきました中鉢満氏が10月31日付けをもって任期満了となるため、後任として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、見目政子氏(稲毛田)を芳賀町教育委員会委員に任命することに同意しました。

〈選任同意〉

□人権擁護委員

【内容】 人権擁護委員の若林勝治氏(東高橋)と増渕佳子氏(東水沼)が、平成24年12月31日付けをもって任期満了となるため引き続き、最適任者として法務大臣に推薦することに同意しました。

また、同じく平成24年10月31日付けをもって任期満了となる森郁夫氏(祖母井)を引き続き、最適任者として芳賀町教育委員会委員に任命することに同意しました。



増渕佳子氏



若林勝治氏



森郁夫氏



見目政子氏

産業建設常任委員会事務調査報告

閉会中の事務調査及び行政視察の申し出を許可された産業建設常任委員会の事務調査が終了したため、9月定例会において、小林一男委員長より報告されました。

◇調査事項

「道の駅」の集客増加に向けての取り組みについて

◇調査の意見と提言

平成24年12月、道の駅はがにおいて、リニューアル計画による物産館が開館予定である。現在の計画では加工所は検討されておらず、物産館での販売品目に占める町内産品の割合も低い数値を示す可能性が高い。

リニューアル計画の実施に際しては、加工施設を設置し、指定管理者であるロマン開発(株)が主体的に、商工会・JA等との協力のもと、地元産販売品目の開発と掘り起こしを行い、独自の販売品目の増加を図ること。また、駅内での軽食等の提供においては、消費者ニーズと地産地消を考慮し、特色ある道の駅づくりを行うことを併せて検討されたい。



行政視察(山形県・㈱アベ技研)

平成23年度会計別決算額

(単位：千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計	8,931,935	8,090,249	841,686	
国民健康保険特別会計	1,969,342	1,867,934	101,408	
農業集落排水事業特別会計	232,024	221,578	10,446	
芳賀工業団地排水処理センター特別会計	98,015	61,030	36,985	
介護保険特別会計	保険事業勘定	1,182,059	1,142,821	39,238
	サービス事業勘定	11,635	5,096	6,539
公共下水道事業特別会計	232,145	218,362	13,783	
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	288,764	268,947	19,817	
宅地造成事業特別会計	19,863	18,899	964	
後期高齢者医療特別会計	112,921	109,912	3,009	
計	13,078,703	12,004,828	1,073,875	

平成23年度決算審査意見 (抜粋)

監査委員 槌谷 力
監査委員 小林 信二



槌谷 力
代表監査委員

本町の財政構造については、比較的健全に運営されており、第5次芳賀町振興計画の後期初年度として、重点施策の着実な実行を図りながら、基本理念に基づき、各種事務・事業等歳出につきましても、計数的な過誤もなく誠実な執行が行われていると認識いたしました。

本町の平成23年度単年度財政力指数は「0.980」、健全化判断比率におきましては、実質公債比率7.8%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありませぬ。

しかしながら、財政の根幹を成す町税は、景気低迷や昨年の大震災等の影響などもあり、特に法人町民税や固定資産税で大きな歳入の減少がみられ、財源の確保が非常に厳しい状況となっております。

また、平成23年度は長く続いた地方交付税不交付団体から、交付団体に転じました。行財政

の運営につきましては、ますます厳しく予断を許さない状況です。納税者である町民との共通認識を持ち、効率的で堅実な財政運営に努力をお願いいたします。なお、収税に関しましては昨年度に引き続き当町は、徴収率県内第1位であります。この点は、日頃の行政努力として評価すべきと思います。

借金である本町の地方債の残高ですが、年々計画的な減少化が見られ、一般会計と3つの特別会計で、71億8,823万円です。執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられます。引き続き長期的な視野に立ち、健全な運営に併せ、後世への負担軽減をお願いいたします。

また、国民健康保険特別会計について、療養給付費や高額医療費の支出は年々増加しています。国民健康保険財政調整基金残高は、前年度比57.9%まで減少し、6,929万5千円となっております。一般会計からの繰り入れまたは、保険税収の増額を図るべき緊迫した状況であることを確認しました。特別会計の負担区分の明確化を踏まえた適切な措置により、健全な運営に取り組みますようお願いいたします。

します。

祖母井南部土地区画整理事業により創出した保留地で、町が貸付予定地として購入した区画については、早期に貸付を行う努力をお願いします。併せて、遊休財産の、活用と処分について検討努力をお願いいたします。さらに、工業団地内企業の撤退跡地や町有区画の譲渡等については、特別会計の施設使用料による財源確保のためにも進めたいとさせていただきます。

結びに昨年の予算執行は、震災による影響を多大に受けたものと印象を強く持ちました。災害復旧の取り組みに対し一町民としてお礼を申し上げるとともに、厳しくなる一方の財政状況に対し、町長はじめ執行部の皆さんが危機感を強く持ち、歳入の確保に努め、経済的で効率的かつ効果的な事務事業の執行を行っていただけるようお願いいたします。



一般会計決算

質疑応答

(抜粋)

質疑 増淵さつき議員 住民基本台帳事務のクレーム件数1件の内容は。

住民課長 町で対応できないものについて挙げてあり、旅券に関するものでした。

□ 子育て拠点運営事業の子育て広場登録者数や利用者数が減っているがその理由は。

子ども育成課長 受講料について、町内と町外で格差をつけたことも要因のひとつであると考えられます。

質疑 北條 勲議員 町議会議員及び町長選挙費や町農業委員会委員選挙費での不用額について、減額がなされていないのはなぜか。

なぜか。

企画課長 不用額については、最終的に精査して減額しますが明確にどのくらいの額でということを決めていないので、今後どのようなことが適正であるか検討していきます。

質疑 大根田和子議員 庁舎維持管理事業の直流電源設備更新工事費630万円で、電気料削減等の結果は出ているか。

総務課長 これは従来ある設備が老朽化したことによる工事です。電気料は削減されていると思うが把握はしていません。

□ 女性団体連絡協議会に加入している団体は7団体から減り、5団体です。曲がり角にきていると感じるが、町長はどのように考えるか。

町長 各団体には、内容をしっかり実施していただければ加入数は増えるのではないかと思います。生涯学習担当がおりますし、町でも支援していきますので、しっかりと活発に活動していただきたいと思います。

質疑 水沼孝夫議員 生活路線バス運行支援事業で、JRバス宇都宮〜茂木線補助額が昨年度より一気が増えた原因は。

企画課長 JRバス宇都宮〜茂木線は、震災の影響で活動する人が減った、自家用車使用に代えた等の原因でバス利用者が減少しています。利用者減により、採算が悪化し赤字が増え、補助額が増えました。

□ ひばりタクシーの登録者数の割に、利用者数が減っているが、料金が高いからか、運行に使用している車両が老朽化しているからなのか。

企画課長 平成22年度に比べ、300人弱減少していますが、震災の影響を受けて減少したもので、その後徐々に回復しています。来年度には、商工会から町で運行するようにし、直接利用者の要望等を聞いて運行形態を考えていくようにします。車両については、委託業者に買い替えるを要望しているところですが、今後も関係者と協議していきます。

質疑 小林一男議員 中学生海外派遣事業費31万5千円の内容

と事業に参加する生徒の負担額は。 **子ども育成課長** アメリカ合衆国に生徒18名と教員3名を派遣しています。生徒の自己負担額は14万5千円です。

□ 生徒の個人負担が14万5千円かかる中で行きたくても行けない生徒がいると思うが低所得者への方策はないか。

教育長 要・準要保護の子どもたちに扶助をしているが、基準は子どもたち全員が参加するものについてです。海外派遣事業は一部の子どもが参加するものであり、扶助の基本的考えから難しいが、教育委員会を開き、町の考えなどを検討していきます。

質疑 市川宗司議員 スクールバス運営委託は入札で契約しているが、不用額が生じる理由は。

子ども育成課長 小学校の通常登下校の運行以外に、社会科見学や陸上記録会等校外活動用としての委託料も見込んでおり、当初見込みよりも少なかったものです。また、ひばりタクシーも利用しており、実数で支払っているの、入札額が全額で

はなく、残額が生じるものです。

質疑 見目 匡議員 災害救助費の瓦礫撤去業務委託料2、122万6千円とあるが、町の建設業者に委託したものか。

建設課長 町の建設業者22社に委託したものです。

□ 町の瓦礫撤去は素早く実施し大変よかったが、基準が曖昧であり、今後どのようにしていくのか。

町長 確かに曖昧な点があったので基準を作り直しました。今後は、その基準を基に適正に執行していきます。

質疑 杉田貞一郎議員 毎年出てくる不納欠損に対して、今後どのように対応していくのか。

税務課長 税の公平負担の観点から滞納者に督促、催促し、必要に応じて納税の折衝をすること共に、納税者の実態調査、預貯金等の財産調査をし、差押を実施し、不納欠損を少なくする努力をしていきます。



常任委員会審査報告

平成23年度一般会計及び特別会計決算認定案件は各常任委員会に付託され、9月7日から13日まで厳正に書類審査と現地調査が行われました。審査の結果は、9月18日の本会議において報告され、全員により認定されました。

各常任委員会での審査終了の意見や留意事項は、次のとおりです。

総務常任委員会



芳賀広域ごみ処理施設建設現場(真岡市)

1 庁舎維持管理において、記録的な猛暑や電力不足が懸念された中、節電に努め、消費電力量を前年の77.2%に抑えており、今後も創意工夫を重ね、より一層の節電に努められたい。しかしながら、庁舎は建築から26年が経過し、毎年、空調設備の修繕を行っている現状がある。長期改修計画において、空調設備方式の変更（集中方式から個別方式へ）も検討事項に加え、庁舎建物の延命化を図られたい。

2 学校跡地等町有土地については、維持管理の見直しを行い、有効利用を図られたい。区画整理地内の貸付予定地については、担当課のみならず庁内全体で早期に貸付先を決定されたい。借地についても、なお一層の交渉努力をし、解消を推し進められたい。

教育民生常任委員会



南高根沢ひばり保育園調査

超高齢化社会が進むなか、芳賀町においても高齢者世帯、一人暮らし高齢者世帯が増加傾向にあります。町内における見守りネットワークの強化、拡充が急がれます。これらの活動には、地域住民や自治会等の協力が不可欠であり、行政側からの発信を積極的に進め、組織化できるよう努められたい。

産業建設常任委員会



祖母井南部調整池

東日本大震災の復旧復興に多くの費用が充てられたが、本来整備が予定される箇所にも順次執行されたい。

芳賀町温泉センターに係る改修費は、毎年多額に上っているが、施設の長寿命化計画を作成し、工事の適切な執行と経費の縮減に努められたい。

子どもへの安全対策を伺う!

町 さらに児童、生徒への安全確保に配慮



増湊さつき 議員

問 2008年の学習指導要領の改定により「わが国固有の文化である武道の考え方を理解する」「自己実現の楽しさや喜びを味わう」などを目的に、今年度から中学1、2年生の男女全員を対象に保健体育での武道とダンスの必修化が実施されることになりました。

芳賀中ではどのような武道、ダンスの授業が実施され、生徒の選択状況はどのようなのかと、武道について事故防止のための対策をどうしているのか伺います。

また、けが防止や授業内容充実のため、地域の武道経験者を中学校に派遣する計画はありますか。

担当は柔道を専門とし事故防止にさらに配慮

答 教育長 武道は柔道、ダンスはフォークダンスなどを実施する計画となっています。

事故防止の対策は、十分な事前指導を行い、受け身、寝技の習得を中心に危険を伴うものは、実施しないこととしています。

担当教員は自身が柔道を専門としており、地域の武道指導者の派遣計画はありませんが、事故

防止にはさらに配慮するよう指示します。

問 栃木市保育園でおやつの際にご誤飲による痛ましい事故が発生してしまいました。町としての再発防止のための対策を伺います。

答 教育長 原因となった白玉だんごは、ひとつの保育園は使用停止、他はのどに詰まらないよう細かく刻むなど加工して使用しており、小学校では使用しておりません。今後も、児童・生徒の安全を確保するため、食材の選定については、献立会議で慎重かつ適切に行っていく予定です。

また、緊急時に対処できるように救急救命講習会は芳賀北小、芳賀南小、芳賀中学校で定期的に行われており、芳賀東小や各保育園、各学童保育クラブ、子育て支援センターの職員においては今後、役場で開催する講習会に参加する予定です。

超高齢化社会を支えるために

問 一人暮らしの高齢者が急病になった際、救急隊が本人と口滑なやり取りができなくても、適切な救護活動が行えるよう、「医療情報キット」を配布する市町が増えていきます。この事業への取り組みを伺います。

緊急時支援に有効今後、検討していく

答 町長 高齢化が進む中、高齢者の緊急時支援は急務となっています。本町では、見守りネットワークや地域見守り

隊が、高齢者の健康状態や生活状態を定期的な訪問によって確認しています。これら有効な支援と併せて、医療情報キットは急病の際などに大変有効なことから、町から全戸に配布している健康カレンダーの一部を使って、医療情報キットとして代用できないか、今後検討していきます。



救急医療情報キット

学校跡地利用計画について

町 次期振興計画の策定及び見直しにあわせて検討



市川 宗司 議員

問 文部科学省のホームページ「みんなの廃校プロジェクト」活用用途募集廃校施設一覧に、旧芳志戸小学校、旧水沼小学校が掲載された効果について伺います。

具体的な進展はない

答 町長 掲載された平成22年9月から現在までの具体的な問い合わせが5件、その他電話等での状況問い合わせが数件ありました。内容としては、水耕栽培、太陽光発電、倉庫業、レトロ博物館等がありました。具体的には進展に至っていません。

問 旧高橋小学校の開発には、市街化調整区域における地区計画の同意を得るため、小学校跡地利用計画を芳賀町の都市計画マスタープランに取り上げていただきたいが、町長のお考えを伺います。

答 町長 芳賀町都市計画マスタープランは、本町の都市計画の基本方針として平成13年に策定されました。その後、平成18年に策定された第5次振

興計画を受けて、平成20年に改訂されました。県では、市街化調整区域における地区計画に関する同意方針として、7つの観点から判断するものとしており、その中で、上位計画である町都市計画マスタープラン等と整合していることが挙げられています。地区計画を活用するのであれば、町振興計画及び都市計画マスタープランに位置付けられた地区計画であることが求められています。

学校跡地の活用については、県の指導を仰ぎながら、次期振興計画の策定及び都市計画マスタープランの見直しに合わせて検討していきます。

問 市街化調整区域における地区計画制度の運用基準第7条の5「既存集落環境改善型（居住系）」の条文中、学校跡地活用ができるような類型を追加することができないか伺います。

答 町長 学校跡地を活用するために地区計画を活用するのであれば、新たな類型を検討すべきと考えますが、県の同意方針との整合性を図ること

が必要になります。市街化調整区域における学校跡地の活用については、県と協議の上、総合的な土地利用計画の検討をしていきます。

学校等のいじめ問題について

問 学校のいじめ問題について、去る7月13日付け文部科学大臣談話で、その後8月1日には全国小・中・高校に対していじめの件数を緊急調査するよう通知がありました。町教育委員会、各学校はどのように調査対応をされたのか伺います。

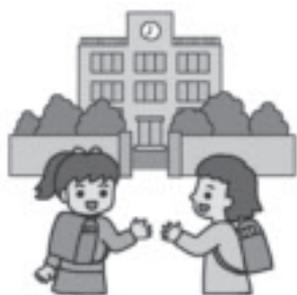
町内いじめ問題実態調査し小・中学校で57件を認知

答 教育長 本町では7月6日に各小学校長に対し、いじめ問題の重要性を全職員が認識し、全校体制で防止に努めること、教育相談や日記指導を通じて児童生徒の声に耳を傾けること、いじめに関する実態調査の実施などを指示いたしました。その結果、小学校のいじめ件数は56件、中学校は1件となり、いじめが解消した件数は、小学校45件、中学校は解消済みと

なっています。小学校の残り11件についても解消に向け、鋭意取り組み中という状況でした。

問 教育委員会及び学校側の隠微い体質について、教育長の所見を伺います。

答 教育長 いじめを早期に発見し、早期に解決するということが、さらに重要と認識しており、町教育委員会と各学校、保護者等が緊密に連携して適切に対応することが求められていますので、いじめ問題を故意に隠ぺいすることなど毛頭考えておりません。



議会改革検討委員会 レポート

9月定例会から各常任委員会決算書類審査を傍聴

議会改革検討委員会は、町民にわかりやすく、より開かれた町議会を目指して、議会改革の取組を推進するため活動しています。

委員会活動の活性化等についての協議では、所属以外の委員会の決算審査状況についても理解ができるようにすべきとの意見がありました。従来、3つの常任委員会は、同じ日に決算書類審査を実施していましたが、今回からは日程を2日間延長し、他の常任委員会の決算書類審査を傍聴できる日程としました。

その結果、多くの議員が傍聴し、書類審査での担当者の説明に熱心に耳を傾け、町全体の決算の詳細について、把握ができるようになりました。



産業建設常任委員会の書類審査

栃木県町村議会議員研修会に参加

栃木県町村議会議員研修会が、10月9日に宇都宮市東市民活動センターで開催されました。

この研修会は、栃木県町村議会議長会が事業計画に基づき毎年主催しているもので、県内12町の議会議員が一堂に会し、熱心に研修を行いました。

今回は、東京財団研究員・早稲田大学マニフェスト研究所客員研究員・第30次地方制度調査会委員（元北海道栗山町議会事務局長）の中尾修氏が、「全国に広がる地方議会改革」―議会基本条例から考える―、テレビ等に解説者として出演されている読売テレビ特別解説委員の岩田公雄氏が、「日本の政局と今後の展望」と題し講演されました。質疑の時間も設けられ、大変参考になりました。



日本の政局を語る岩田公雄氏



講話に聴き入る議員

芳賀町議会 活動報告

次世代型路面電車（LRT）導入整備にかかる勉強会を開催！ 講師に 佐藤栄一 宇都宮市長

芳賀町議会（見目 匡会長）では、会員全議員の資質の向上と親睦を図るとともに、町政全般に関し、調査研究活動を原則自費により行っています。

平成24年度事業として、去る9月24日に、東西基幹公共交通としての次世代型路面電車（LRT）導入整備について、共通認識と導入機運の醸成を目的とした勉強会を芳賀町役場大会議室において開催しました。

当日は、構想の中核となる宇都宮市の佐藤栄一市長に「公共交通ネットワークとまちづくり」をテーマに講話をいただき、その後懇談を行いました。芳賀町議会議員と町職員約30名の皆さんが、導入整備についての必要性和認識を深めることができました。



行政視察

— 広島県呉市議会が来庁 —

広島県呉市議会の自然共生党会派所属の議員さんが、8月22日に行政視察に訪れました。

呉市は、広島県の南西部に位置し、瀬戸内海に面した人口約24万人の、気候温和で自然に恵まれた臨海都市です。

循環型社会「環の町芳賀」について、町担当者からの説明を聞き、熱心な質疑応答の後、(有)ドンカメを現地視察され、町の環境対策についての理解を深めて帰られました。



(有)ドンカメの生ごみ搬入(稲毛田)



消防団存続のために



君嶋貴宏さん
(与能)

私は消防団に入って11年目、現在第1分団第3部の部長を務めさせていただいています。団員20人、それぞれが使命感を持って消防活動に取り組んでいます。

消防団の人員確保は厳しくなってきました。近い将来、限界がくると思います。なぜ、消防団は大変か？それはパフォーマンスが多いからです。(遠くの大きな力が働いているので、仕方がないのですが。)例えば、操法大会のため毎朝のように仕事前に集まり、ひたすらシンクロ動

作の練習をし、1秒を縮めようと研究等することは、実際の火事場では役に立ちません。しかし、安全な消火活動のためには訓練は必要です。ただ、もっと現実に即し、団員の負担を軽くするような在り方が求められると思います。とはいえ自分は操法大会が、消防団の仲間たちが好きです。閉塞感のあるこの時代、消防団が地域における重要なコミュニティとして存続していけるよう、消防団の在り方を考えていく必要があると思います。

元気な芳賀町を望みます

私は、芳賀町内にある小玉産業(株)に勤務しています。その為、建設・土木工事の観点から町内の状況を見たときに感じるのは芳賀町の予算の多くが、祖母井地区に集中し、その他の地区では、整備の遅れている地区も見受けられ、同じ町内でも格差が有るように思えます。

芳賀町の新規住民獲得のために、薬師の郷などを整備することもわかるのですが、今まで町内に暮らしてきた住民がもっと満足のできる環境を整備していかなけれ

ば、二世や三世は都市部へ移住してしまい、人口に対しての高齢者割合がどんどん増え、将来的に見ると、人口がどんどん減少してしまうのではないかと心配です。

このように、これから先の心配をしてみるのは、職業柄、芳賀町内を回ることが多く、それぞれの家庭でいろいろな話をする機会が多いからなのでしょう。

今後の町政に期待し、元気な芳賀町になってくれることを望みます。



佐藤昌芳さん
(下高根沢)

芳賀町はどこですか



柳 啓三さん
(西水沼)

私は、国道に自宅が面しているため、時々道を尋ねられます。「市貝町の芝桜はどこですか。」「益子町へは、この道でいいのですか。」ある日、「芳賀町はどこですか。」と尋ねられました。道路標識にないために、分からないのです。

そうです。国道の道路標識には、益子、市貝、真岡、茂木はあるけれど、芳賀町はありません。益子町益子や茂木町茂木はありますが、芳賀町に芳賀はありません。芳賀町の努力により、認知度も増え、特

産品も多くなり、今後、他県の人々が梨狩り、イチゴ狩りをするため芳賀町を訪問するでしょう。その度に、町内のどこかで、「芳賀町はどこですか。」と尋ねる人が増えてくるのではないのでしょうか。

今後芳賀町の特産品の認知度を上げる努力と共に、町の場所のPRの仕方も考える必要があると思います。

以上の経緯を踏まえ、幻の町、道路標識のない町、とPRするのも一考かな？

議会日誌

平成24年

8月

- 10日・縣市町村トップセミナー
(宇都宮市)
- 22日・広島県呉市議会議員行政視察
- 27日・芳賀中部上水道企業団水道運営協議会
・議会運営委員会
- 29日・国保運営協議会

9月

- 1日・町敬老祭
- 3日・郡議長会定例会
・芳賀広域行政事務組合定例会
- 4日・第3回芳賀町議会定例会(～18日)
- 6日・総務常任委員会
- 8日・中学校体育祭
- 13日・教育民生常任委員会
- 15日・小学校運動会
- 18日・議員全員協議会
・議会運営委員会
・広報常任委員会
- 21日・戦没者追悼式
- 26日・中部環境衛生事務組合議会定例会
・芳賀中部上水道企業団定例会
- 28日・マスコットキャラクター選定委員会

10月

- 1日・芳賀中部上水道企業団先進地視察
(～2日)(群馬県渋川市)
- 2日・教育民生常任委員会行政視察
(～3日)(長野県大町市、群馬県高崎市)
- 9日・県議長会町村議会議員研修会
(宇都宮市)
- 14日・町民大運動会
- 15日・郡正副議長視察研修
(～16日)(秋田県)
- 17日・教育民生常任委員会
- 19日・商工会と立地企業との交流会
- 24日・総務常任委員会行政視察
(～25日)(山形県飯豊町)

(議会広報常任委員会
委員長 水沼孝夫氏)

原子力規制委員会は東海第2原発から50 km圏の芳賀町も放射線ヨウ素防護地域PPAを検討する必要があった。政府は30年代に原発稼働ゼロとする「革新的エネルギー・環境戦略」の閣議決定を見送った。評論家の斎藤美奈子氏が書いていた「国民の大多数が脱原発を望む中、民主党は人を失望させるのが天才にうまい。自民党はというと原発稼働ゼロを否定した。原発を安全だと言い続けて推進してきたのは、どこのどの党なのか、領土が侵されようとしている危機的状況だと吠える前に日本の海と国土は放射能で侵されている。自民党は何が危機的な状況か見極めるセンスも失ったのではないか。」

全くその通りである。利権や政権・権限に執着する政・官・財・メディア等は、その軸足を国民や国の将来、子どもたちの未来に置いてはいない。私達国民がしっかりとした認識と展望を持って行動しないことにはこの国の未来は危うい。無責任社会に憂いを感じる今日この頃である。

議会だよりの表紙写真を募集!

芳賀町の「議会だより」は、年4回と随時に臨時号を発行し、町内各戸や関係機関へ配布しております。皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集いたします。

テーマ「元気な芳賀町」(人物・風景等は問いません)

応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント(L版以上)またはデジタルデータ
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得て応募してください。
- ・応募の際は、住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。



審査方法

芳賀町議会広報常任委員会にて審査します。

応募締め切り 平成25年1月18日(金)

応募先 芳賀町議会事務局

その他

採用者には粗品を進呈します。

次号は2月発行予定です。



芳賀チャンネルも見てね!!

〈次回の定例会開催予定日は12月4日(火)です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

※議会定例会をその日の20:00～と再放送を翌日14:00～に放映

編集室